

# 大泉

## 体験は力

石井 友行

ゴールデンウィーク。その響きだけでわくわくしてきます。暖かな日差しに誘われて外に出ると自然界の生命の躍動を感じる季節です。このチャンスを生かして子供にはいろいろな体験をしてほしいと思います。体験は学びを支えます。体験は学びをより深いものにします。

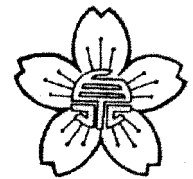
たとえば、理科の学習で昆虫の体のつくりを勉強するとしましょう。教科書には図解入りで体のつくりの説明がありま

す。昆虫に触れたことのない子も知識として確かに覚えることができるかもしれません。でも、本物の虫には生きています。捕らえられていれば逃げようとするだろうし、場合によってはかみつくかもしれません。虫に実際に触ったことのあることそうでない子の知識の深みはまったく違います。

<発行>  
練馬区立大泉小学校

<所在地>  
練馬区東大泉 4-25-1

TEL 03-3924-0144  
FAX 03-5387-2092



しれません。教科書に出てくる一つ一つの言葉の背景にはいろいろなことが隠れているのです。それを具体的にイメージできることが体験の強さです。

子供たちにはいろいろな体験をさせてやりたいと思います。五感をいかして全体で感じ取ってほしいと思います。「見ることだけで私たちはすべてわかっています。」「ことだけに思うこともありますが、人間にはほかにみずぐれた感覚器官があります。」「聞く」「触れる」「嗅ぐ」「味わう」など五感を生かした体験が大切です。もしも連休中に自然の豊かな場所に行くことがあったらぜひ試してほしいことがあります。見ることを止めてほかの器官で自然を感じる体験です。目をつぶって自分からは一切物音をたてず、一分間黙ってじっとしている。すると、何が起きるか。鳥の声や葉っぱの擦れる音が聞こえてきます。頬を撫でる風を感じるかもしれません。微かな森の香りも。きつと忘れられない体験になると思います。

### 学校評議員の紹介

学校運営について、アドバイスをいただきます。よろしく願います。

渡部恭伸様（学校応援団理事）  
加藤友泰様（地域協力者）  
内田光雄様（青少年育成東大泉会長）  
貫井武彦様（地域商店会長）  
小林厚平様（避難拠点連絡会副会長）  
川村櫻子様（本校PTA会長）

### 5月の行事予定

1日（水）	あいさつ月間始め 演劇鑑賞教室
2日（木）	離任式 5時間授業 視力検査（3）
3日（金）	憲法記念日
4日（土）	みどりの日
5日（日）	こどもの日
6日（月）	振替休日
7日（火）	視力検査（2） 移動教室説明会（6）
8日（水）	視力検査（15）
9日（木）	委員会活動 光が丘ブル（五）
10日（金）	安全指導・安全点検 はたらく消防生会（25） 視力検査（4） 4時間授業
13日（月）	避難訓練 言語指導（五） 24日（金）
13日（月）	読書週間 尿検査二次提出日
14日（火）	内科検診（1） 交通安全教室（1）
15日（水）	特別時程 5時間授業 言語指導（五） わくわくタイム
16日（木）	遠足（12） 光が丘ブル（五） 内科検診（35） クラブ活動
20日（月）	防犯教室（2） 自転車教室（3）
21日（火）	遠足（五）
23日（木）	クラブ活動
24日（金）	特別時程 PTA総会
27日（月）	移動教室事前検診（6） 31日（金）
28日（火）	岩井移動教室

《5月の生活目標》  
「すすんであいさつや  
返事をしましょう」

「あ・・・あかるく  
「い・・・いつでも  
「さ・・・さきに  
「つ・・・つづけよう

大泉小のあいさつポスターに書かれている言葉です。学校の生活は「おはようございます。」というあいさつに始まって「さようなら」というあいさつに終わります。明るい元気なあいさつは相手も自分自身も気持ち元気になると思います。あいさつは人と人とのコミュニケーションにとっても大切な役割を果たします。しかし、まだ恥ずかしくて照れてしまったり、自分からあいさつすることが習慣化していなかったりする子もいます。学校では自分からすすんで元気にあいさつができるように声をかけ、職員も子供たちに元気よくあいさつをしていきたいと思っています。

大泉小では年間三回あいさつ運動月間を行います。三年生以上の子供たちから、「あいさつしよう！ハイタッチ運動応援隊」を募集し、朝教員と一緒にハイタッチ運動をする取り組みも行います。校内に元気なあいさつの声が響くよう、ご家庭でも声かけをお願いいたします。

### 『心のふれあい相談室』について

ふれあい相談員は、浅沼玲子相談員です。

・時間は：火曜日・水曜日

・場所は：和室

金曜日：10時～16時  
で行います。

## ようこそ大泉小へ！

新しく大泉小へ赴任した教職員です。

十七年ぶりに大泉小にもどってくることでできて、感無量です。色が黒くて大きくて、ちょっと怖そうですがとっても優しい男です。子供たちの成長に少しでもお役に立てばと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。(坂上龍介)

はじめまして。「はえのゆきこ」と読みます。大泉小の校舎の広さ、子供の数の多さ、元気さ、素直さ、驚きと、発見の毎日です。子供たちが毎日楽しく生活できるよう、一生懸命頑張ります！どうぞよろしく願います。(波江野礼子)

西東京市立芝久保小学校ことばの教室から参りました。賑やかな駅前の様子とは別世界で、明るく落ち着いた雰囲気、学校に感動しています。子供たちとの出会いを大切にしていきたいと思っています。どうぞよろしく願います。(大澤明子)

足立区立桜花小学校特別支援学級から参りました。元気いっぱいの子供たちに囲まれて、日々が楽しい驚きの連続です。子供たちの元気に負けないよう、私も頑張ります。どうぞ、よろしく願います。(佐藤智子)

稲城市立向陽台小学校ことばの教室から異動してきました。校舎を囲む木々の大きさと豊かさに、大泉小の歴史を感じます。子供たちの良い所をたくさん見つけられるよう、精一杯頑張ります。よろしく願います。(佐々木さやか)

はじめまして。今年度新規採用として

大泉小学校に着任しました勝又眞優(かつまたまゆ)です。何事も全力で取り組み、笑顔絶えない毎日の子供たちと送りたいと思っています。どうぞよろしく願います。(勝又眞優)

みなさん、初めまして。今度、上石神井中学校から異動して来ました田口光廣と言います。まだ、仕事も慣れないことばかりですが、どうぞよろしく願います。(田口光廣)

はじめまして。スクールカウンセラーの小西です。四月から月曜日に大泉小学校に来ています。お子様たちは緊張するけど、楽しい気持ちで入学・進学したことでしょう。私も同じ気持ちです。よろしく願います。(小西健)

今年度初めて学校生活支援員となり、大泉小学校に着任しました、深澤と申します。どうぞよろしく願います。一日も早く仕事を覚え、先生方のお手伝いが出来るように、努力していくつもりです。(深澤昌代)

区内早宮小からきました。大泉小の子供たちの素直さや優しさを感じながら過ごしています。子供たちの気持ちを大切にしながら、学校生活のお手伝いをさせて頂きたいと思っています。どうぞよろしく願います。(伊櫻華代)

## 演劇鑑賞教室について

五月一日(水)に演劇鑑賞教室を行います。子供たちの豊かな情操を育み、創造力を高め、文化・芸術への関心を高めることをねらいとしています。

今年の演目は、劇団ポプラによる「オズの魔法使い」です。

「オズの魔法使い」はアメリカの童話作家L・Fボームによつて生み出され、一九〇〇年に出版された作品です。当時としては大ヒットの一〇万部が売れ、ベストセラーとなりました。その後、オズシリーズとして、計四十編も書かれている作品です。

アメリカカンサス州に住む、主人公ドロシーは、ある日、竜巻に家ごと巻き込まれて小人族・マンチキン王国へと飛ばされてしまいます。「カンサスに帰りたい・・・」という願いを叶えるため、何でも願いを叶えてくれるというオズ大王の住むエメラルドの都へと向かうドロシー。途中でカカシ、木こり、ライオンと出会い、四人でオズ宮殿に向かいます。それぞれの願いを叶えてもらうため、オズ大王から出された難題に力を合わせて立ち向かいます。

今年度の秋の文化的行事は学芸会で鑑賞を楽しむとともに、劇団の方達の演技から体の動きや表情、台詞の話し方などを学び、自分たちの劇に生かしていくってほしいと思います。

当日は全校児童で鑑賞します。ご家庭でも「オズの魔法使い」の感想を聞いていただき、お子さんと一緒に作品を楽しんでください。

(佐々木 淑恵)

## 読書旬間へ向けて

今年も子供たちが楽しみにしている読書旬間が始まります。期間は、五月十三日(月)から二十四日(金)までの二週間です。

読書旬間では、今年も子供たちの大好きな「子どもと本をつなぐ会」の図書ボランティアのみなさんによる「読み聞かせ」があります。四月十七日の顔合わせから約三週間、何回も学校に足を運び、準備を進めてくださっています。どんな本を読んでもくださるか、今からわくわくしますね。

また、図書委員による「ポイントラリー」も行います。ポイントが全部たまる図書委員が作った景品がプレゼントされます。どんな景品か、楽しみにしてください。

全校の取り組みとしては、子供たちが期間中に読んだ本をカードに記録し、一番気に入った本の絵を描いて紹介し合います。各クラスとも廊下に掲示しますので、どうぞご覧ください。

子供たちの回りには、テレビ・ビデオ・インターネット等の様々な情報メディアが発達・普及していて、子供たちの生活環境は変化しています。そのことによつて子供たちの読書離れが心配されます。読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにしてくれます。ふだんは読書活動になかなか取り組みづらい子もいますので、この読書旬間を機会に、本を開いてみようという子が増えることを願っています。

(野口 美智子)